

「障害者週間」をご存じですか？

障害者基本法（第九条第一項）

〔障害者週間〕

国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため、障害者週間を設ける。

12月3日～9日は「障害者週間」です



第129号

(共同募金からの助成金の一部で作成しています。)

編集 NPO法人 埼玉県障害者協議会

編集責任者 田中 一

〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1  
埼玉県障害者交流センター内

TEL048(825)0707 FAX048(825)3070

メールアドレス ssk080321@bz03.plala.or.jp

発行 NPO法人 埼玉障害者センター

〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1  
埼玉県障害者交流センター内

TEL・FAX 048(833)7027

発売日 毎月10日、20日、30日

定価 一部 100円(購読料は会費に含まれます)

## 平成30年度を迎えて ～すべての人とともに～

NPO法人 埼玉県障害者協議会 代表理事

たなか  
はじめ  
田 中 一

### はじめに

平成30年度がスタートしました。平成30年度は障害者総合支援法の全面施行、改正障害者雇用促進法の施行、障害福祉サービスの報酬改定（診療報酬・介護報酬とのトリプル改定）が行われました。また、国連障害者権利条約批准後初めての第4次障害者基本計画（障害福祉計画+障害児福祉計画）がスタートします。基本理念に「共生社会の実現」を掲げています。

このように障害者福祉政策の動向が打ち出される年であり、社会福祉全体を見渡すと「地域共生社会」（わが事・丸ごと）、「地域包括ケア」構想など21世紀型社会福祉構築に向けて本格的な動きが強まる年でもあります。

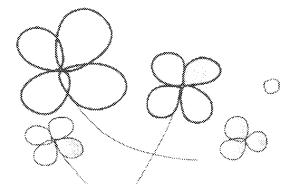
### 1 埼玉県では

埼玉県では、障害者差別解消法の施行後、埼玉県共生社会づくり条例、埼玉県手話言語条例の施行、埼玉県虐待禁止条例などを踏まえ、平成30年度を初年度とする第5期埼玉県障害者支援計画が策定されました。計画の進捗状況をしっかりとモニタリングしていくなければなりません。併せて、埼玉県地域保健医療計画、埼玉県地域福祉支援計画、埼玉県高齢者支援計画などの関連する計画などにも注視していく必要があります。

### 2 すべての人とともに

このような情勢を踏まえ、当協議会は、障害者差別解消法の目的であるインクルーシブな社会の実現をめざし、今年度活動していきます。

障害者が日常生活及び社会生活全般で、生きがいと豊かな暮らしが実現できるように多様な活動をすすめます。また、障害者が地域でも、施設でも安心して暮らせるように、国・県・市町村、民間事業者への要請をすすめるとともに、共生社会の実現に向けた取り組みを加盟団体はもとより、すべての人とともににより一層推進します。



### もくじ

平成30年度を迎えて	1
社会参加推進事業調整会議開催報告	2
第38回総会について	3
わたしたちは今！	
埼玉県自閉症協会	4

# 平成29年度 第2回 埼玉県社会参加推進協議会並びに 社会参加推進事業実施団体調整会議 開催報告

## 埼玉県障害者社会参加推進センター 事務局

平成30年2月17日土曜日、埼玉県障害者交流センター2階の第1・第2会議室にて、平成29年第2回埼玉県社会参加推進協議会並びに社会参加推進事業実施団体調整会議が開催されました。



この会議には、社会参加推進事業の各実施団体の他、埼玉県福祉部障害者福祉推進課社会参加推進・芸術文化担当の鈴木淳子主幹並びに中井伸子主事のご出席を頂きました。当事業は埼玉県内の障害者の社会参加を推進するため、埼玉県障害者協議会が埼玉県の委託を受けて、埼玉県障害者社会参加推進センター事業として実施しています。

平成29年度事業では、14の実施団体を通じて、講習会や各種体験など、障害者が日常生活を送るために必要な指導、訓練を行うとともに、障害者スポーツ・レクリエーション等にて、障害者の体力維持増強、交流、余暇活動などを開催しています。

当日の会議では、各実施団体より平成29年度社会参加推進事業についての報告及び平成30年度実施に向けて意見交換が行われました。



今年度の事業として、身体障害者のための安全運転講習会や公共施設などの歩行訓練、知的障害者のための防災・避難所体験、盲人用機器(紙幣読み取り機等)使用訓練、手話普及イベント、講演会及び講習会、研修旅行、その他各種文化事業、またグラウンドゴルフやボウリング、電動車椅子サッカー大会、スポーツ・レクリエーション教室等、各種40の事業がそれぞれ予定通り開催され、または準備が円滑に進んでいることが報告されました。

平成30年度事業に向けては、障害の有無に関わらず、より多くの県民の皆様に広くご参加いただけけるよう、各団体が会報誌やインターネット等の媒体を積極的に活用し、より一層広報に力を入れる必要がある、との認識を各団体で共有し、会議は終了致しました。

# 埼玉県障害者協議会 ～第38回総会のお知らせ～

**5月12日(土) 13時～**

埼玉県障害者交流センター ホールにて開催

**第37回の様子**

## 第39回埼玉障害者まつり 10月7日(日)に開催決定！

お問合せはこちら

事務局

電話・FAX 048-833-7027

日 時：平成30年5月12日(土)

13時 開会

来賓あいさつ

13時30分～14時50分

研修会

「障害者差別解消法施行をどう活用するか～法施行から3年、いま多様な事例から具体的な活用を考える～」

講師：佐藤 久夫 氏

日本障害者協議会理事

日本社会事業大学名誉教授

15時～16時30分 総会

会 場：埼玉県障害者交流センター  
ホール(1階)

### <賛助会員加入のお願い>

埼玉県障害者協議会の目的に賛同しご協力頂ける個人及び団体を募集しております。

賛助会員には年8回の会報の送付、各種研修会・講演会などのご案内を送付いたします。

賛助会員の会費は、年一回 2,000円 です。

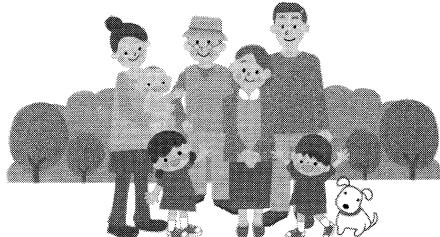
入会をご希望の方は、右記の口座へお振込み下さい。

特定非営利活動法人 埼玉県障害者協議会

口座番号  
00130-9-673233

口座名称  
特定非営利活動法人  
さいたまけんしょうがいしゃきょうぎかい  
埼玉県障害者協議会





埼玉県自閉症協会

事務局長 竹田 由香里

## 「時代の流れと共に」

発達障害という言葉はあちこちで耳にするようになりましたが、その中核をなすのが自閉スペクトラム症です。スペクトラムのように知的障害の有無、そして症状の現れ方も個々に異なるため、大変幅が広い障害です。

自閉スペクトラム症の原因に関しては世界的に見ても全ての謎が解明されているわけではありませんが、支援の方法についてはだいぶ確立されてきています。情報もネット上に溢れ、一介の相談はネット上において見ず知らずの先輩にすることができるなど、一見すると良い土壌ができてきているかのように思えますが、我が子が自閉スペクトラム症と診断されたばかりの親達は、これから子育ての不安や悩みを抱え、苦しんでいる方が多くおられます。話を聞くと、昔も今も悩んでいる内容に大きな変わりはなく、逆に情報があり過ぎて上手く取捨選択ができなくなっている様子がみられます。会って話ができれば不安や悩みが払拭できる方も多いのですが、ネット社会の弊害か、人間関係の構築を煩わしいと感じてしまう方も多く、それすら叶わないのは大変残念に思います。

時代の流れと共に、私達親の会の在り方も問われています。私達は子ども達とその家族の笑顔のため、ぶれることなく活動を続けていきたいと思っています。

### ◇ 編集後記 ◇

春は毎年、埼玉県障害者協議会事務局のある埼玉県障害者交流センターでは、敷地内に植えてあるたくさんの桜が見事です。今年もきれいに咲いてくれましたが、桜を楽しめる時間が短く終わり、残念でした。皆さんはお花見を楽しめましたか？

郷古

